

STAGE+を楽しむ(139)(HP 収載)
—フルシャとチェコ・フィルの東欧作品—

1. 始めに

前報(138)に引き続き、STAGE+のフルシャとチェコ・フィルの東欧作品の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、フルシャとチェコ・フィルの東欧作品の演奏を選びました。

フルシャとチェコ・フィルが、東欧作品を演奏

協奏曲ソリストはヴォンドラーチェク

収録日: 2021年11月17日

2016年エリザベート王妃国際音楽コンクールの覇者であるルカーシュ・ヴォンドラーチェク。彼はラフマニノフのピアノ協奏曲を得意とし、全曲録音も果たしています。本映像は2021年に行われた演奏で、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団と共にラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を披露。情感豊かな演奏を聞かせてくれます。また同オーケストラによるヤナーチェクの初期の名作《オーケストラのための組曲》にルトスワフスキ作品の演奏も色彩豊かな音色で奏でられています。

ソリスト:

ルカーシュ・ヴォンドラーチェク (ピアノ)

演奏:

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

指揮:

ヤクブ・フルシャ

曲目:

セルゲイ・ラフマニノフ ピアノ協奏曲第2番ハ短調 op. 18

ルカーシュ・ヴォンドラーチェク(ピアノ)

ロベルト・シューマン 《子供の情景》op. 15 より第7曲: トロイメライ

ルカーシュ・ヴォンドラーチェク(ピアノ)

レオシュ・ヤナーチェク 管弦楽組曲 op. 3

ヴィトルト・ルトスワフスキ 管弦楽のための協奏曲



3. 試聴の経過

前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpL を接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

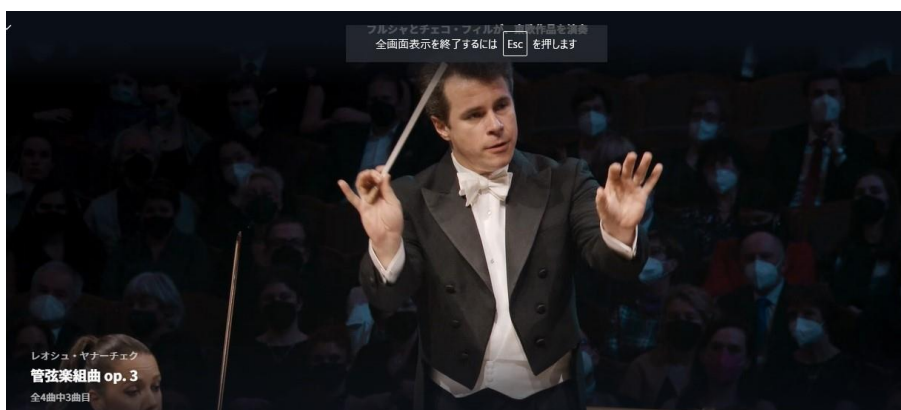
また、CDクリーナーの効果(9)で報告しましたようにPCのストリーミング再生において、PCの液晶画面とLAN iSilencer とルーター に対するCDクリーナーの処理を行っています。

ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番は、お馴染みの曲です。ラフマニノフのピアノ曲は、ともすれば曲芸的なテクニックを披露する演奏もありますが、ヴォンドラーチェクのピアノもフルシャ指揮のチェコ・フィルも抒情性に溢れた丁寧で美しい演奏です。:

アンコール曲のシューマンの《子供の情景》トロイメライは、ゆったり目のテンポでこれも優雅な演奏です。

ヤナーチェクの管弦楽組曲は、初めて聴く曲で、東欧の民族音楽を思わせる牧歌的な表情が展開されます。

ルトスワフスキの管弦楽のための協奏曲は、これも初めて聴く曲で、喧噪で煌びやかな現代曲ながら、どこか東欧の民族的な雰囲気が漂っています。



4. まとめ

LAN アクキュライザーと Crstal EpL や CD クリーナーの処理効果により、ロシアやチェコ、ポーランドというそれぞれの音楽の雰囲気を感じることができました。

以上